

みやび通信

つれづれなるままに K A Z U が つづる

＊ ＊ みやび通信 第2号(通刊第38号) 2002 (平成14) 年11月24日 発行：K A Z U ＊ ＊

第2号

オークランドの動物 チョウ

ニュージーランドのネイティブなチョウは19種類しかいません。日本の240種以上という数字に比べて実に少ない数です。普通都市周辺で見られるチョウは5種類、その内4種がオークランドで見られます。

スジグロカバマダラ

MONARCH BUTTERFLY, *Danaus plexippus*)

一番目につくのがこのチョウでしょう。北米原産で海を越えて分布を広げつつあり、ニュージーランドでは1873年に初めて記録されました。朱赤に黒の筋、開長50mmの大型のチョウでよく目立ちます。温暖なせいで殆ど一年を通じて見られますが、やはり夏場が一番多いです。吸蜜するときは緩やかに飛びますが、一端飛び立つと飛ぶ力が強いので瞬く間に見えなくなってしまいます。

モンシロチョウ (CABBAGE WHITE, *Pieris rapae*)

次によく見られるのがモンシロチョウでしょう。このチョウはもとニュージーランドにはいませんでしたが、1930年ネイピアで発見されてから、どんどん分布を広げました。ニュージーランドでもアブラナ科作物の害虫として知られています。

シルビアシジミ (COMMON BLUE, *Zizina otis*)

余り目立たないチョウですが、結構数はいます。ちょうど日本の都市部のヤマトシジミのような感じでしょうか、地面に近いところをちょろちょろと飛ぶので気に止めない人は見過ごしてしまいます。

シルビアシジミは亜種が多く、日本で見られるものは地域型亜種だと考えられています。

イエローアドミラル (YELLOW ADMIRAL, *Bassaritis itea*)

最後はこのチョウ。切手の図案にもなっている同じ属のミナミアカタテハ RED ADMIRAL (*B. gonerilla*) もオークランドに分布していることにはなっているのですが、残念ながら一度もみかけたことがありません。イエローアドミラルは美しいチョウで庭園にも時折来ますがあまり同じ所

にじっと止まってくれない上、飛ぶ速さが速いので観察は困難です。唯一冬場石の上などで日光浴をしている時がじっくり見るチャンス。



サザンカの葉の上で羽をやすめる Monarch Butterfly



One Tree Hill のモニュメントの上で日向ぼっこをする Yellow Admiral